

国土数值情報（小学校区）

製品仕様書

第 2.0 版

---

平成 24 年 3 月

国土交通省国土政策局

---

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2010 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) ver.1.0 準拠
第 2.0 版	2012 年 3 月	地理情報標準プロファイル (JPGIS) のバージョンアップに伴う改訂 (符号化仕様は GML 準拠)

# 目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	3
1.7 参考資料.....	3
2 適用範囲.....	4
2.1 適用範囲識別.....	4
2.2 階層レベル.....	4
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	5
4.1.2 指定地域パッケージ.....	6
4.1.3 小学校区パッケージ.....	7
4.1.4 共通パッケージ.....	10
4.2 空間スキーマプロファイル.....	10
4.3 時間スキーマプロファイル.....	10
5 参照系.....	10
5.1 座標参照系.....	10
5.2 時間参照系.....	10
6 データ品質.....	11
6.1 品質要求及び評価手順.....	11
7 データ製品配布.....	13
7.1 配布書式情報.....	13
7.2 配布媒体情報.....	13
8 メタデータ.....	14
<b>付属資料</b>	
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

## 1 概覧

---

### 1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は、以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（小学校区）製品仕様書 第 2.0 版  
日付：2012 年 3 月 16 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

### 1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の公立小学校の位置（点）及びその通学区域の範囲（面）について、設置主体、名称、所在地等のデータを整備したものである。

### 1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲  
日本全国
- 時間範囲  
2012 年 3 月 16 日時点

## 1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

## 1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」

- 国土政策局 GIS ポータルサイト 用語集

- 小学校区

小学校区とは、当該小学校に通学する児童・生徒の居住地について、市区町村の教育委員会等が指定する小学校別の一定の通学範囲となる「通学区域」をいう。

また、全国各地においては「学校区」「学区」「校区」「校下」も同義語にあたる。

なお、通学区域が広範囲等により範囲が限定しにくい「私立小学校」「特別支援学校」「国立大学の附属小学校」等については、当該小学校区の対象に含まない。

- 公立小学校

公立小学校とは、主に地方公共団体（市区町村及びその組合）が設置する小学校のことをいう。

学校教育法において、小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とし、市町村は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならないと定めている。

- 通学区域

通学区域とは、市区町村の教育委員会等が通学すべき学校を指定する児童・生徒の居住地の一定の範囲をいう。

学校教育法施行令において、市町村の教育委員会は、当該市町村の設置する小学校が二校以上ある場合においては、通知において当該就学予定者の就学すべき小学校を指定しなければならないと定めている。

なお、通学区域が運用等により限定しにくい「区域外就学」「学校選択制」「指定変更許

可」等については、当該対象に含まない。

## 1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS            Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP              Japan Metadata Profile
- UML             Unified Modeling Language

## 1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL     <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

## 2 適用範囲

---

本製品仕様書の適用範囲は、次のとおりとする。

### 2.1 適用範囲識別

国土数値情報（小学校区）製品仕様書 第 2.0 版 適用範囲

### 2.2 階層レベル

データ集合

## 3 データ製品識別

---

### 3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称  
国土数値情報（小学校区）データ
  
- 日付  
2012年3月16日
  
- 問合せ先  
国土交通省 国土政策局 国土情報課  
電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569  
Email：nsdijp@mlit.go.jp
  
- 地理記述  
全国

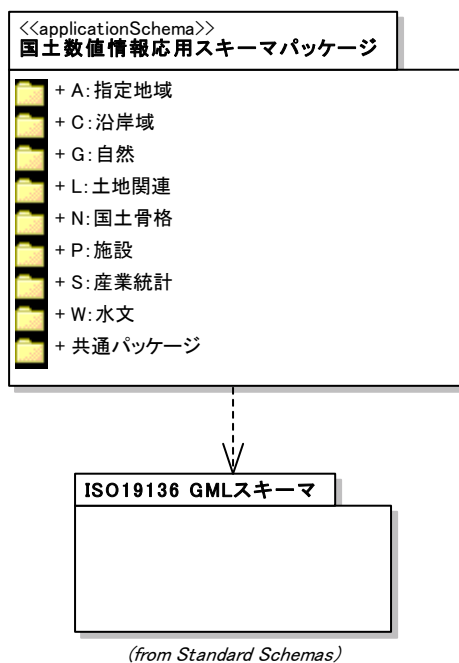
## 4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

### 4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

#### 4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

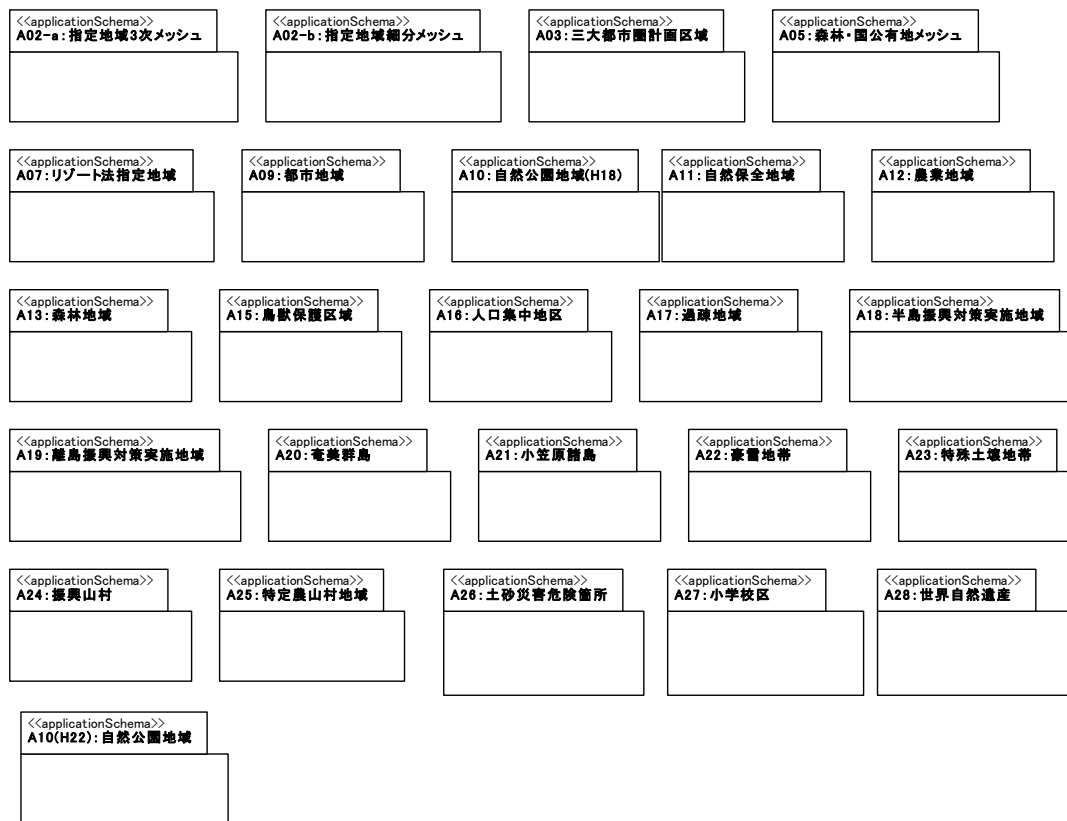
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。





## 4.1.2 指定地域パッケージ

このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

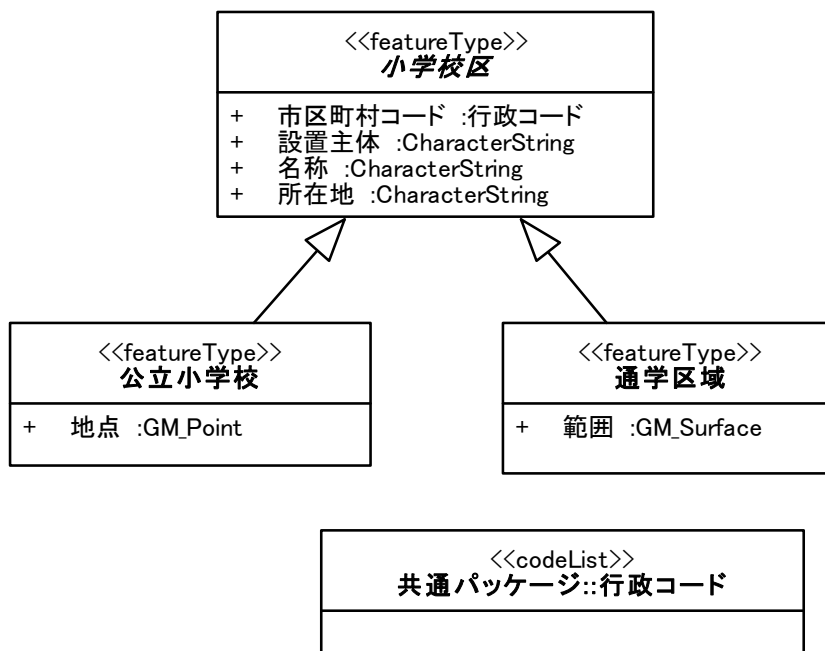


### 4.1.3 小学校区パッケージ

---

このパッケージは、小学校区に関する内容をまとめたものである。

#### 4.1.3.1 応用スキーマクラス図



#### 4.1.3.2 応用スキーマ文書

##### 小学校区

当該小学校に通学する児童・生徒の居住地について、市区町村の教育委員会等が指定する小学校別の一定の通学範囲となる「通学区域」。

上位クラス：

---

抽象／具象区分：抽象

---

属性

---

**市区町村コード**：行政コード

当該小学校が属する行政コード。

■ 定義域

共通パッケージを参照

■ 取得基準

2010年4月1日公表値を使用する。

**設置主体**：CharacterString

当該小学校の設置主体（例えば、〇〇市立）。

■ 定義域

256byte 以内

**名称**：CharacterString

当該小学校の名称（例えば、□□小学校。〇〇市立は明記しない。）。

■ 定義域

256byte 以内

**所在地**：CharacterString

小学校の設置所在地の情報（例えば、〇〇市□□町 1-1-1）。

■ 定義域

256byte 以内

##### 公立小学校

主に地方公共団体（市区町村及びその組合）が設置する小学校。

上位クラス：小学校区パッケージ：小学校区

---

抽象／具象区分：具象地物

---

属性

---

**地点**：GM\_Point

当該小学校の位置。

### 通学区域

市区町村の教育委員会等が通学すべき学校を指定する児童・生徒の居住地の一定の範囲。

上位クラス：小学校区パッケージ：小学校区

---

抽象／具象区分：抽象

---

属性

---

**範囲**：GM\_Surface

当該通学区域の範囲。

■ 取得基準

面で取得する。

図形の起終点は一致させる。

#### 4.1.4 共通パッケージ

---

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめたものである。

コードリスト等については、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

### 4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

### 4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

## 5 参照系

---

### 5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000/(B,L)

### 5.2 時間参照系

時間系識別子 : GC/JST

## 6 データ品質

### 6.1 品質要求及び評価手順

データ品質要素・副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応関係がとれない小学校区データが存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査
適合品質水準	過剰データ数 0 個

データ品質要素・副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に原典資料と対応する小学校区データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査
適合品質水準	データの漏れの数 0 個

データ品質要素・副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML パーサによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML バリデータによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の市区町村コード，の定義域の範囲外にある値を持つ地物の割合を計算する。 誤率 (%) = (定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	閉じられていない面があればエラーとしてカウントする。 誤率 (%) = (エラー数 / 各データ集合総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素・副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物と数値地図 25000 (地図画像) を重ねてディスプレイ上または出力図に表示し，原典資料と比較し，位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	実寸 25m 以内

データ品質要素・副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性と原典資料に記載されている内容とが一致しない地物の割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	誤率 0%

## 7 データ製品配布

### 7.1 配布書式情報

#### ■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

#### ■ 符合化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

[http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO\\_19136\\_Schemas/](http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/)

国土数値情報 (世界自然遺産) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

#### ■ 文字集合

UTF-8

#### ■ 言語

日本語

### 7.2 配布媒体情報

#### ■ 単位

全国

#### ■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>



## 8 メタデータ

---

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

# 国土数值情報（小学校区）製品仕様書 第 2.0 版

---

## 付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
施設					
A27 小学校区					
	小学校区			ElementarySchoolArea	elementary school area
		市区町村コード	行政コード	administrativeAreaCode	administrative area code
		設置主体	CharacterString	establishmentBody	establishment body
		名称	CharacterString	name	name
		所在地	CharacterString	address	address
	公立小学校			PublicElementarySchool	public elementary school
		地点	GM_Point	position	position
	通学区域			SchoolDistrict	school district
		範囲	GM_Surface	bounds	bounds

## 付属資料-2 符号化仕様

---

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="2.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>小学校区</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.xsd"/
>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="PublicElementarySchool" type="ksj:PublicElementarySchoolType"
substitutionGroup="ksj:ElementarySchoolArea"/>
  <xsd:complexType name="PublicElementarySchoolType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>公立小学校</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
```

```

<xsd:extension base="ksj:ElementarySchoolAreaType">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>地点</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
  </xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="PublicElementarySchoolPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:PublicElementarySchool"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="PublicElementarySchoolMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:PublicElementarySchool"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="ElementarySchoolArea" type="ksj:ElementarySchoolAreaType" abstract="true"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
<xsd:complexType name="ElementarySchoolAreaType" abstract="true">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>小学校区</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">

```

```

<xsd:sequence>
  <xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>市区町村コード</xsd:documentation>
      <xsd:appinfo>
        <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
      </xsd:appinfo>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="establishmentBody" type="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>設置主体</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="name" type="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>名称</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="address" type="xsd:string">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="ElementarySchoolAreaPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:ElementarySchoolArea"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="ElementarySchoolAreaMemberType">

```

```

<xsd:complexContent>
  <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
    <xsd:sequence minOccurs="0">
      <xsd:element ref="ksj:ElementarySchoolArea"/>
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  </xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="SchoolDistrict" type="ksj:SchoolDistrictType"
substitutionGroup="ksj:ElementarySchoolArea"/>
<xsd:complexType name="SchoolDistrictType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>通学区域</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="ksj:ElementarySchoolAreaType">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>範圍</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SchoolDistrictPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:SchoolDistrict"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SchoolDistrictMemberType">
  <xsd:complexContent>

```

```
<xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:SchoolDistrict"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>
```